



かみかわ町

議会だより

No. 75

令和6年
9月1日発行

この町は あなたが住む町 つくる町 神川町議会

令和6年

6月

定例会

6名の議員が一般質問を行う P.2~5

6月定例会審議結果 P.6

議会委員会活動報告 P.8



議会の傍聴について

第4回定例会は9月

3 日(火) [午前9時~ 一般質問等] から

17 日(火) [午前9時~ 質疑・討論・採決等]
を予定しています。

新型コロナウイルスの感染状況により、議会の傍聴人数を制限する場合がありますので、ご了承ください。

表紙の写真

町民に愛される花

📷 撮影 フォーカス友の会 舟山 カウ子さん

表紙シリーズ

町内の風景写真

かみかわ町議会だよりはユニバーサルデザインフォントを使用しています。



町政を問う ～ 一般質問 ～

どの質問に興味がありますか？

P.5
暑さ対策

P.5
女性特有の健康課題の解決策

P.5
保育所の調理員

P.4
住民に活用しやすい補助金制度

P.4
太陽光発電事業

P.4
町の人口減少対策

P.3
防災意識向上のための取組

P.3
こども基本法の周知

P.3
高校入学時の支援

P.3
子どもの近視と睡眠の質

P.3
水道管耐震化

定例会の概要

令和6年第2回神川町議会定例会は、6月4日から13日の会期で開かれ、町政に対する「一般質問（※1）」の他、町長から提案された令和6年度一般会計及び特別会計補正予算3件をはじめ、条例改正1件、人事案件等の計23件の案件が審議され、原案どおり可決・同意・承認されました。

「一般質問」とは（※1）

議員が町の施策、将来展望等の説明を町長などに求め、適切な町政運営を行っているかチェックするものです。

一般質問の全文は、議会事務局の会議録で閲覧することができます。また、町ホームページの神川町議会からも閲覧できます。



一般質問



川浦 雅子 議員

Q 水道管耐震化について

町の現状は

能登半島地震による被害で、未だ多くの地域で断水が続いている。神川町の水道管の耐震化の現状と石綿管の更新計画を伺う。

A 町長答弁

現在、町の水道管の耐震適合率は35%である。今後も老朽化の著しい石綿管の布設替えを優先し、水の安定供給に努める。

Q 子どもの近視と睡眠の質について

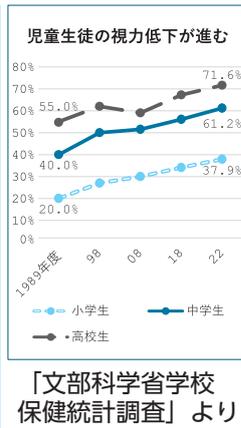
視力低下予防を

近年スマホ使用等による視力や睡眠の質の低下が問題になっている。町内の児童生徒の視力状況と町民の健康を守るための取組みを伺う。

A 町長・教育長答弁

町長…目の病気やスマホ依存等の健康への影響を鑑み、適正な使用法を周知する。

教育長…小中学校での眼鏡使用割合は35%である。デジタル機器の長時間使用による弊害に対し適切な活用方法を指導する。



Q 高校入学時の支援について

保護者負担軽減を

子育て支援策の一つとして、高校入学時に負担の大きい、タブレット端末や制服代等の支援が必要、町の考えを伺う。

A 町長答弁

町はこれまでも、子育て支援の充実に取組んできた。高校入学時に費用負担が集中する事は承知しているが、近隣自治体の状況を勘案し、限られた予算の中で検討する。



剣持 真菜美 議員

Q こども基本法の周知について

周知と課題について問う

こども家庭庁の使命はこどもまんなか社会の実現である。そのためには「こども基本法」の情報発信と周知活動を急ぎ進める必要がある。今後、認知度を向上させ、子供や若者の意見を政策に反映させるための具体的な取組みについて伺う。

A 町長答弁

町では、広報やホームページ、加えて学校や地域団体を通じて情報を発信し、(町民全体)全職員が共通認識を持つ取組みを進める。また、子ども・子育て支援事業計画には、子供たちの声を取り入れ、若年層の積極的な参画を目指す。

Q 防災意識向上のための取組みについて

取組み方に工夫を

町では山間部での土砂災害対策が充実しているが、平野部の町民向け避難訓練が不足している状況が伺える。防災意識の向上のためには、単なる取組み増加にとどまらず、災害の重要性を正しく理解し、楽しく学べる取組みが必要だ。町の今後の防災対策について伺う。

A 町長答弁

町では自主防災組織を支援し、ジュニア消防クラブを通じて子供たちに防災教育を提供し、広報誌で楽しく学べる内容を発信している。自助、共助、公助の連携を強化し、広報やホームページを通じて住民の防災意識向上を図る。



出典：こども家庭庁。「こどものみなさんへ」
URL(<https://www.cfa.go.jp/for-children>). R6.7.4



新井 太一 議員

Q 町の人口減少対策について

町の具体策は？

人口戦略会議から地域の持続可能性を分析した報告書が公表され、神川町が新たに「消滅可能性自治体」に該当してしまっただ。今回の結果を重く受け止め、人口減少対策及び持続性を高めるための政策について伺う。

A 町長答弁

町でも大きな衝撃を受けた。今回の分析の指標となる年齢層に対しては、これまでも安心して定住し、子供を産み育てる環境づくりに取り組んできたが、本報告を真摯に受け止め、取組みの評価、点検を行い、より効果的な対策を講じ、また、組織一丸となって新たな対策も模索していく。

Q 太陽光発電事業について

設置条例制定について

脱炭素社会に向けて、太陽光発電事業は重要な事業と理解できる。一方、防災、環境保全、景観との調和、地域住民の生活環境の保全といった問題点に対して、町独自の「太陽光発電設置条例」や「神川町景観条例」などの条例制定を進める考えはあるか。

A 町長答弁

3月に神川町ゼロカーボンシティ宣言を行い、家庭用太陽光設備補助制度を創設した。また、野立ての太陽光設備設置については指摘の問題点を回避するガイドラインを設けている。加えて令和7年度には神川町地球温暖化対策実行計画策定を予定し、その中で設置業者等に環境に配慮した対応を求めていく。



出典：環境省。「太陽光発電の環境配慮ガイドライン」(令和2年3月)



四方田 繁男 議員

Q 住民に活用しやすい補助金制度について

ひと目で分かる補助金制度

町では、住宅リフォーム資金補助金などの町民が活用できる様々な補助金制度があり、現在のホームページでは補助金制度一覧表のようなページがない。また、広報紙でも随時、補助金制度の説明はあるが、町民が一目で分かる一覧記事は見当たらない。

各補助金制度には予算の上限はあるかと思うが、町の補助金制度等を町民に分かりやすく知ってもらうため、ホームページ作成や広報紙をどのように活用しているのか、周知方法について町長の考えを伺う。

A 町長答弁

広報紙には、補助金の申請時期に合わせて紙面掲載を行い、概要を分かりやすく伝えるように記事を作成している。

また、ホームページについては、ページを開くとすぐに検索窓が表示されるレイアウトとするなど、知りたい情報に素早くアクセスできる工夫を行っている。

検索ワードが分からない場合の該当ページへのアクセス支援については、検索以外の方法で各種補助金制度紹介ページに案内できる手法について、今後研究をさらに進め、より多くの方に情報を分かりやすく伝えるよう努めていく。



一般質問

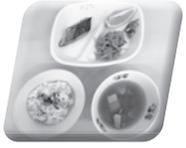


福島 康弘 議員

Q 保育所の調理員について

アレルギー事故のない給食提供

現在、保育所の給食は、全て会計年度任用職員により調理業務が行われている。給食提供には栄養管理はもちろん、食物アレルギー対策、食の魅力や楽しみを伝える事が課されていると思う。現在、多様なアレルギーを抱える児童が多くいるなか、調理業務は細心の注意を払う必要性がある、そのため、栄養士資格を有した正規職員の雇用が必要と考える。また、令和8年4月には神川幼稚園・青柳保育所の統合が予定されているが、ここでも統括的な役割を果たす正規職員は必要、町の考えを伺う。



A 町長答弁

町保育所の給食提供は直営で行っており、児童福祉施設基準に従い、両保育所に調理員を配置している。議員指摘のとおり会計年度任用職員による給食提供体制となっているが、この職員の中には栄養士の資格を有した方もおり、現行の体制で、アレルギー対応を含め、献立作成や調理業務にあたっている、今後も正規職員の配置予定はない。また、保育所給食実施に当たっては年々、調理員確保が難しい状況があり、町では令和8年4月に認定こども園の開園を機に給食センターと同様に丹荘保育所の給食調理も合わせ民間委託を検討している。なお、委託によっても、アレルギー対策を考慮に入れ安心安全な給食提供を目指す。



赤羽 奈保子 議員

Q 女性特有の健康課題の解決策について

フェムテック・フェムケアで女性を元気に

町では女性が安心して働きながら暮らしていける支援としてフェムテックを活用した取組みを推進していく考えはあるか。

また、小中学校で行う性教育の時間にフェムケアの専門家の活用も効果的だと考えるが、町の考えを伺う。

A 町長・教育長答弁

町長・町では健康教室等を通じて、妊娠や出産、更年期障害等の健康課題についての予防法、ケアの仕方などを紹介している。今年度は、自身の健康面が後回しになりがちな世代に罹患率の高い子宮頸がん、乳がん等に関する研修会を計画し、その中でフェムテック等についても有効

Q 暑さ対策について

クールシェアスポットの取組み

ここ数年、災害級の猛暑が続いている、温暖化防止の観点からも、クールシェアの取組みも必要と考える。公共施設だけでなく、民間施設にも協力を要請し、クールシェアスポット事業を町独自で取組む考えがあるか。

A 町長答弁

町では、これまで埼玉県と連携しクールシェア事業を実施しているが、この官民連携した取組みの周知徹底を図る。また、新たに熱中症特別警戒アラート発令時に、公共施設をクーリングシェルターとして開設することを決定している。



6 月定例会議案一覧及び審議結果

	議案名等と主な内容	審議結果
	神川町家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例 家庭的保育事業等の設備及び運営の基準の改正に伴い、所要の改正を行う。	○
	令和6年度神川町一般会計補正予算(第1号) 国の定額減税事業に伴う調整給付金支給事業に係る経費1億2,395万3千円の増額など。歳入歳出各1億8,234万3千円を増額し、補正後の予算額を61億5,534万3千円とする。	○
	令和6年度神川町国民健康保険特別会計補正予算(第1号) マイナンバーカードと健康保険証の一体化に係る総務費を増額補正した。	△
	令和6年度神川町介護保険特別会計補正予算(第1号) 保険給付費のうち介護予防給付費を増額補正した。	○
町長提出議案	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて 農業委員会委員が令和6年7月19日をもって任期満了となるため、農業委員会等に関する規定に基づき13名の任命案が提出され、満場一致で同意した。	○
	工事請負契約の締結について 旧神泉総合支所解体工事の契約。	○
	工事請負契約の締結について 神川町B&G海洋センタープール跡地施設整備工事の契約。	○
	専決処分につき承認を求めることについて(神川町税条例の一部を改正する条例) 地方税法等の一部改正に伴い、所要の改正を行う。	○
	専決処分につき承認を求めることについて(神川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例) 地方税法等の一部改正に伴い、所要の改正を行う。	○
	専決処分につき承認を求めることについて(神川町過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の特例に関する条例の一部を改正する条例) 総務省令等の一部を改正に伴い、所要の改正を行う。	○
	令和5年度神川町一般会計繰越明許費繰越計算書について 全5事業の予算額4,915万3千円を翌年度に繰り越す。	○

【審議結果】 ○全員賛成(可決) △賛成多数(可決) ×賛成少数(否決)

	議案名等と各議員の賛否 賛成：○ 反対：×	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	12	議決等の結果
		剣持真菜美	新井 太一	四方田繁男	田中 隆久	福島 康弘	川浦 雅子	野口 弘吉	坂本 貴佳	堀川 光宣	赤羽奈保子	柴崎 愛子	
	神川町家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	-	○	○	○	-	○	○	-	可決
	令和6年度神川町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	-	○	○	○	-	○	○	-	可決
	令和6年度神川町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	-	○	×	○	-	○	○	-	可決
	令和6年度神川町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	-	○	○	○	-	○	○	-	可決
町長提出議案	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	-	○	○	○	-	○	○	-	同意
	工事請負契約の締結について	○	○	○	-	○	○	○	-	○	○	-	可決
	工事請負契約の締結について	○	○	○	-	○	○	○	-	○	○	-	可決
	専決処分につき承認を求めることについて(神川町税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	-	○	○	○	-	○	○	-	承認
	専決処分につき承認を求めることについて (神川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	-	○	○	○	-	○	○	-	承認
	専決処分につき承認を求めることについて(神川町過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の特例に関する条例の一部を改正する条例)	○	○	○	-	○	○	○	-	○	○	-	承認
	令和5年度神川町一般会計繰越明許費繰越計算書について	○	○	○	-	○	○	○	-	○	○	-	報告

— 柴崎愛子議長(議事進行)は採決に加わりません。
— 田中隆久議員及び坂本貴佳議員は、療養のため欠席です。

委員会視察

議会だより編集委員会視察

寄居町の議会広報広聴特別委員会を視察

令和6年4月26日(金)、議会だより編集委員会で全国町村議会広報コンクール1位の寄居町議会の議会広報広聴特別委員会を視察。議員自ら広報記事の取材や編集を行い、毎号、町民に関心を持っていただくための苦心談も伺いました。神川町議会でも寄居町の議会だよりを参考にしながら、町民の皆さんに少しでもわかりやすい議会だよりをお届けできるように取り組んでいきたいと思います。



議員の視点! 住民とのかけ橋

議員が自ら町内の取材・執筆を行っていくことで、町民との対話機会が増え、延長線上にある議会の活性化に繋げていくことができます。

そのためには、興味関心を引く企画や構成、デザインは何なのかを探求し続けます。

議会文教厚生委員会視察

こども食堂を視察

令和6年4月26日(金)、こども食堂は、地域からおなかを空かせた子供たちを減らす取り組みのひとつで「熊谷なないろ食堂」は、週3回、170食のお弁当を提供しています。フードドライブ活動も毎月行い、多くのボランティアに支えられ運営し、食堂を通して地域のつながりが生まれています。



出典：熊谷なないろ食堂。[Top] .
URL(<https://kumagaya-nanairo.com/>). R6.7.4

議員の視点! 官民連携を

こども食堂の運営は①こどもの学習、②ボランティア等の地域の人々の力、③コミュニティの復活、④フードロスの軽減などにも繋がっていた。ここでは官民連携部分が課題になっていたが、福祉分野での問題も自然発生的に出てきているため、神川町では行政とのかわりを求めている。

議 会 活 動 報 告

総務経済常任委員会協議会

令和6年6月6日(木)、総務経済常任委員会協議会を開催し、執行部から建設課職員の出席を求め、「国道254号本庄藤岡間バイパス建設促進状況及び社会資本の整備及び適正な維持管理について」の意見交換を行いました。



「埼玉県内の道路整備の現状と今後の予定」「社会資本整備に係る現状と課題」などの質疑に対し、埼玉県の道路整備に係るビジョンや町の舗装維持管理計画などの説明がありました。

今後は、神川町議会として県への要望活動継続や執行部への補助事業の有効活用の提案を行ってまいります。

文教厚生常任委員会協議会

令和6年6月7日(金)、文教厚生常任委員会協議会を開催し、町民福祉課から「障害者総合支援法の改正」による新たな取組みや課題、また障害者支援の現状について説明がありました。

改正内容は、“障害者および障害児の日常生活等の支援、福祉の増進、障害の有無にかかわらず安心して暮らせる地域社会の実現”を目的としていることから、町においても、これにそった支援が実際の現場に反映できるように要望しました。



スマホで議会！

スマホでQRコードを読み込むと「町HPから神川町議会のページ」が閲覧できます。

12月定例会は、12月3日
(火)から開催予定です。



編集後記

厳しい残暑も残りわずか、秋彼岸後の過ぎやすさが待ち遠しい頃です。

今回の議会だよりは、先進自治体の寄居町視察を受けて、神川町議会として、町民の皆さんに、分かりやすく、読みやすくといった点を目指して内容等の変更を行いました。一読してお気づきの点はご意見をお願いします。
(野口弘吉)

議会だより編集委員会

- ・委員長 赤羽奈保子
- ・副委員長 川浦 雅子
- ・編集委員 野口 弘吉 田中 隆久
- 新井 太一 剣持真菜美
- ・アドバイザー(議長) 柴崎 愛子

